

た高橋幸雄さんにバトンを託した
 と思います。



石巻電友会
 生良志 康信(平10)

からのバトン



石巻電友会
 石川 稔さんへ

宮城通信部職員課時代から公私
 ともにお世話になった近藤詣壽さ
 んから電話を頂きバトンを受ける
 ことになりました。大変光栄に
 思っております。今の私があるの
 も近藤さんのお陰であり感謝の念
 に堪えません。

第2の職場(テルウェル警備)
 を定年退職する際にメックスの高
 橋慶也さんから声をかけて頂き、
 第3の職場となるメックステクノ
 でお世話になっております。

卸町常駐で建物維持管理を担当、
 毎日1万歩ほど歩いております。
 健康の維持には最適な仕事であり
 高橋慶也さんには大変感謝してお

ります。

現在は仕事の傍ら石巻市行政委
 員と町内会役員をさせて頂いてお
 ります。

ここで、在職中にお世話になっ
 た方々について誌面をお借りし紹
 介したいと思います。

採用時、業務研修で青森県に一
 緒に行った若柳の伊藤功さん、今
 も奥様の裕子さん共々親戚付き合
 いをさせて頂いております。

古川時代「仕事は任せる、責任
 は俺がとる」と言ってくれた、人
 情味があり、面倒見のよかった櫻
 井薫さん。その後の私の生き方に
 強い影響があった事は間違いあり
 ません。

新人係長だった私に、いろいろ
 とアドバイスをしてくれた菅谷貞
 子さん。感謝です。

着任早々局内レクの引率を任せ
 れ職員の名前もわからず戸惑って
 いた時助け舟を出してくれた二上
 信昭さん本当に嬉しかったです。

飲み会で最終列車に乗り遅れ、
 ご主人正昭さんが運転する車で古
 川から石巻の自宅まで送ってくれ
 た細矢奈美子さん。感謝です。

仙台中電時代に親身になって話
 を聞いてくれた若松磐さん。心強
 かったです。

大曲の花火大会の帰路仙台まで
 車に同乗させてくれた大森さんご
 夫婦。感謝です。

画像・パケット時代にお世話に
 なった高橋司さん、大友孝さん。
 感謝です。

警備員時代、ご自宅に招待して
 くれた警備の先輩村山秀之さんご
 夫婦。感激しました。

警備の件で何かあれば直ぐに駆
 け付け、親身になって対応してく
 れた、今は亡き石川茂則さん。警
 備員指導教育責任者の資格取得の
 際にも尽力して頂きました。高校
 野球の解説をしている声が今も聞
 こえてくるような気がします。合
 掌。

建物維持管理が素人の私を優し
 く、的確に指導してくれた加藤堅
 也さん。感謝です。

そして、あの東日本大震災から
 9年が過ぎました。我家も大規模
 半壊でしたが、涌谷から車で迎え
 に来てくれ、食事や入浴を準備し
 てくれた警備の先輩相澤正幸さん

ご家族。

仙台から訪ねて来てくれた中電
 時代の同僚赤澤幸子さん。

新庄から栄養士の奥様和子さん
 が作った料理を持参してくれた同
 期の和田秀男さん。

互いに結婚披露宴の司会をし
 あった同期の糟谷正裕さん、とよ
 子さんご夫婦。築館から駆けつけ
 てくれました。その後もガソリン
 事情の悪い中、知人の佐々木毅さ
 んと一緒に被災家具等の搬出を手
 伝って頂き非常に感激しました。
 佐々木さんには長期間マイカーを
 貸して頂き本当に助かりました。
 奥様の美代子さんが作った蒸しパ
 ンは絶品です。

以上紹介した皆さん、そして中
 電時代の仲間板井博行さん、國井
 淳さんをはじめ出会った多くの
 方々に心から感謝をいたします。

古川時代の同僚高橋功さん、中
 電時代の同僚鈴木俊一さん、居酒
 屋の店長だった菅井利吉さんの3
 人とは何度も一緒に旅行をし、公
 私ともに特にお世話になりました。
 今も時々飲み会の席を設け当時の
 ことを話すのが唯一の楽しみと

なっております。
 次は昭和46年から6年間石巻の
 経理でお世話になった高校の先輩
 でもある石巻電友会の石川稔さん
 にバトンをお渡しいたします。



受水槽点検確認作業 NTT 卸町ビル
 (撮影者：電気主任技術者 庄司一栄さん)



空調制御盤点検確認作業 NTT 卸町ビル
 (撮影者：電気主任技術者 庄司一栄さん)



おおふなと電友会
 菊地 重太郎(平15)

からのバトン

弘前地区電友会 島津 眞さんへ



一関の菅原千代子さんからバト
 ンを受けました。一関支店では菅
 原さんはじめ皆さんに大変お世話
 になり有難うございました。転勤
 の先々で上司、先輩・後輩等皆さ
 んに色々お世話になり無事会社生
 活も終えたこと感謝しながら生活
 しております。

現役引退後は、近所のご高齢の
 方々が農作業で健康的な生活をし
 ているのを見て、これが体に良い
 過ごし方かなと思いつき始め農業に
 そしんでおります。畑仕事もなか
 なか思うようには行かず雑草対策
 が大変で、ヘミングウェイの小説
 「老人と海」ならぬ「老人と畑」
 の様相ですが、それでも来年はど
 のようにすればよいか聞きながら
 やるのも楽しいところです。また
 近所で4歳位のお孫さんに枝豆を
 差し上げたら「生まれて初めて旨
 い枝豆を食べた」と喜んでくれた
 ことにも動機づけられ、今は収穫
 したじゃが芋をフードバンクにお
 届けするのを楽しみにしてやって
 おります。

もう1つはポケ防止を兼ねて僅
 かな金額ですが株式投資を勉強し

ております。今は世界中新型コロナ
 ナの影響でかなりの不安定要素が
 あり、絶えず世の中の動向を注視
 しておりますが、取引は当面控え
 ております。またNTTOB会の
 グランドゴルフや各地を巡り歩き
 たいところですが、1日も早く新
 型コロナの終息、移動自粛の解除
 を願うばかりです。

次は入社以来自動運用の仕事か
 らみで付き合いの長い、弘前の島
 津真さんによるしくお願いします。



電友会さくらんぼ

沖田 健一(平21)

からのバトン

盛岡電友会 藤原登代治さんへ



建設部工事センタでお世話にな
 りました箕輪元三さんからのバト
 ンを受け取りました。

工事センタ技術開発担当に勤務
 した2年間丁度直営工事改善事例
 発表会の全国大会が仙台で開催と

なり半年がかりで準備した貴重な
 経験が思い出されます。また直営
 光工事に参加したりと、その後職
 場で大いに役立つ経験をさせてい
 ただきました。

私は昭和47年に盛岡に採用とな
 りましたが、岩手県は未知のエリ
 ア、入社前日に盛岡入りしました
 が吹雪、なんと大変なところへ、
 との思いでした。その後茨城通研
 へ、言葉のなまりに苦労しました。
 その後は山形、仙台、山形、仙台、
 八戸、秋田、仙台、山形と10回の
 転勤、37年間の内12年が単身赴任、
 八戸は遠かった。しかし多くのと
 ころに勤務したことで地域の祭り
 や名物の食べ物なども食すること
 ができ、今思えば大変良い経験が
 できたと感謝もする次第です。

退職後はTTKと現在の会社にお
 世話になりましたが、またまた
 単身赴任が7年間、今も週2日の
 勤務で東北エリアのNTT及び通
 建会社へ材料等の営業をしており
 ます。昔の仲間と会うこともあり
 お世話になっていきます。

楽しみは旅行で、NTT最後の
 4年間が自宅からの通勤だったの



関門トンネルにて

でなんとなく余裕があったのか、その時から家内や親と方々に旅行しました。瀬戸内のしまなみ海道2回、出雲大社、伊勢神宮、黒部2回などすべてマイカーで毎年出かけました。特に富山県八尾の「おわら風の盆」は大好きになり3回も見に行きました。まだ行っていないのは九州の4県、何とか元氣なうちにとっています。

次のバトンは、採用の岩手県で前期、中期訓練と一緒だった藤原登代治さんをお願いします。



五ッ橋クラブ
柴田 三千夫(平13)

からのバトン

千秋クラブ 田山 満さんへ



寒河江市にある史跡「慈恩寺」

で拝観者への説明ガイドボランティアをされている阿部正幸さんからバトンを渡されました。丁度良い肉付き？、つぶらな瞳、ハスキーな声、で淀みのないガイドの光景が目につかびます。

阿部さんも云っておりましたが東北総支社通信機器事業部発足時が最初の出会いでした。「作業日報」から一転、「営業日報」を担当し面食らったことが思い出されますが、何かにつけてその節はお世話になりました。

その後、一旦、通機業務から「開放？」され、再度、「作業日報」に復縁しましたが、数年後には、またぞろ阿部さんと通機業務を担うこととなり「良縁？」を感じざるを得なかった思い出となりました。

ております。

平成20年に通信建設会社を退職し、40年余りの現役生活に別れを告げ、現在に至っておりますが、年々、年を重ねるにつれ「常に恵まれての職場」であったなと改めて感謝をしているところであります。

現役時には極力避けていた「運動系」を退職とほぼ同時に始め、今では、サボり過ぎると変調を感じるような体質に改善？されてきました。

更には、「歩け会」への真面目な参加、直売所でも売れない「花菜園」「鼠の額ほどの畑」での野菜作り等、「良い汗かき」が途切れないようにしていることが、「一病息災」を維持出来ているのかなと思っているところでもあります。

読書(乱読)の機会が従前にも増してきつありますが、「読めない、誤読の漢字」の多いこと。これまで如何に良い加減であったのか、電子辞書を片手に今更ながら呆れているところです。

次のバトンは、通信機器事業部発足時の戦友であった、電友会千

秋クラブの田山満ちゃんへお渡しいたします。



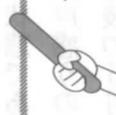
野菜作りをしている畑の前で。
(鼠の額ほどの畑だとか)



大崎クラブ
大場 晃(平13)

からのバトン

霞城クラブ 細谷悦信さんへ



資材の先輩の渡邊勇さんから突然電話があり、おばちゃんボランティアを今も続けてますかとの話でした。色々行っていますと返

事したところ、そこでお願いう事になり、このリレーのバトンを受ける事になりました。

私のスタートは、まずカラオケを最後まで歌う事ができなかつたので、なにか一芸をと思つて、仙台駅前のカルチャーセンターに通い、安来節（どじょう踊り）を習い始め約1年間練習を行いました。が1曲だけではと思いい次はマジックを習い、約10年間練習しました。途中で体調をくずし練習を中断してしまいましたが、今まで習った事を生かし、それがボランティアの始まりになりました。

子供会、児童会、クリスマス会等子供達と楽しく行つております。又、田尻福祉会の役員もして



今ではオハコの安来節

いるのでデイサービス等に出向いてボランティア活動も楽しく行つてます。



マジックはボランティアの強い味方です



子ども達にも楽しいオジちゃん!!と人気です

交通安全運動期間中には小学校の安全教室で、交通安全に関わる手品を披露しております。

交通指導隊、交通安全協会にも所属しており月3回朝7時から1時間、学校周辺の交差点、横断歩

道での声かけ運動を行ない、子供達とも楽しく活動しております。次のバトンは塩釜・資材部でお世話になりました山形の細谷悦信さんをお願いいたします。



五ツ橋クラブ 児玉 健(平12)

からのバトン

青森地区電友会 澤田 真一さんへ

青森電気通信部、五所川原時代に一緒に一緒に今井尚秀さんからバトンを受けました。ありがとうございます。

私は学生時代のボクシング部の思い出を書きたいと思います。

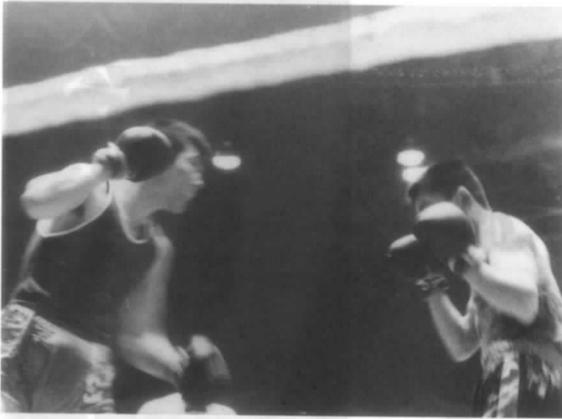
中学校時代に陸上部長。距離1500・2000・3000M。高校時代は発足間もないラグビー部と、スポーツ好きであった。大学は東北学院大学と同時に各クラブから勧誘を受けたが東北学院大に入学。応援部室の隣に道場があ

るボクシング部へ入部。2、3人の人達が練習をしており、道場はかなり古い建物であった事を覚えている。入部した生徒は40名近かった。しばらくはステップでの足の運び、ジャブだけの練習が続いた。翌日には腕と肩がパンパンに張り、苦しい日々の状態であった。先輩部員は少なく戸惑うのも事実であったが1ヶ月後の6月に開催の青山定期戦まで、みっちり練習を積むように言われた。

定期戦まで間がないので、基礎体力とスタミナをつけるため、ロードワークとフック・ストレート打ちの過酷な日々が続いた。そ



闘志を燃やしてリングへ!



このあと、当然、私が勝利！

の中でシャドウボクシング・ロープスキッピング・フックストレート打ちを指導され、だんだんと「様」になってきた。そのうちスパリーング練習が始まり、中にはボクシング経験者が何人かいたが相手をするとパンチが見えずメチャメチャ打ち込まれ、その時のくやしさは今でも忘れない。

その他市民大会、県民大会優勝、福島で開催された東北選手権に出場することができた。当時は東北で優勝すれば、日本選手権、オリンピック選手の道だった。準決勝では福島代表に判定勝ちした。決勝は近畿大学の大友と戦った。一

進一退の壮絶な打ち合いの後は判定に持ち込まれ、準優勝に終わった。当時、東北選手権といえは東北各地から中央の大学に行っていたツワモノを地元を迎えて戦う大きな試合であった。当時、日本大学トーナメントで日大と対戦し、7人制の戦いで6人は本学が敗れ私1人だけが勝つ事ができた。卒業後はOB戦があり、33年ぶりに出場した事が思い出深い。通常1ラウンド3分で行うものを、1ラウンド1分で3ラウンド戦うという形で行った。当時、全日本5位の井開氏との対戦である。結果はドロー。ボクシング部には40人も同期の入部者がいたが、結局最後まで残ったのは6人で今でも酒を酌み交わす間柄である。

次のバトンは五所川原電話局時代に、仕事のあと酒を酌み交わし楽しい時間を過ごした、青森地区電友会の澤田真一さんにお願します。澤田さんとは社宅も一緒にあの頃が懐かしく思い出されます。

会員の皆様からの原稿を募集しております！

会友コーナー

- 短歌・俳句・川柳など 〈お一人3首(句)以内〉
- 随想・旅行の思い出など 〈1,200字以内／年1回掲載※〉

※ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。

でんでんみちのく川柳コーナー

- 川柳 〈お一人3首(句)以内※〉

※多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

お題は自由です！
お気軽に
応募ください！

【お問合せ・連絡先】

電友会東北地方本部 ▶ 電話(022)212-1443 ▶ FAX(022)212-1444
▶ E-mail : keyaki@cocoa.ocn.ne.jp

会友コーナー

文芸

俳句

短歌

川柳

詩

随想

文芸欄



俳句

仙南OB会

大庭美智子

齒応えのよき沢庵に柚子の香が
卒業式入社試験の日でありし
孫卒業次の進路を楽しみに

福島地区電友会

関戸 武

白鳥の首柔らかく帰り待つ
黒猫のすり抜けし路地梅雨明ける
葱坊主この土地好きと居坐りぬ

加藤 良英

山茶花の未だ生きたしと咲きほこる
青空も突きぬく銀杏の大樹かな
うすぐもに仲秋の月泳ぎゆく

五ッ橋クラブ俳句同好会

泉 アヤ子

子守唄紅の襟巻背なの吾子
木漏れ日の網戸にもがく冬の蠅
路地なじむ夕餉の香り春の風

齋 仁二郎

コスモスの倒れしままやこの家も
燕去り寂しき空となりにけり
秋晴や妻によく似し後ろ髪

佐々木栄一

小春日の香りを髪に帰宅妻
娘も孫も遠きみやこや夫婦雛

ネクタイを束から選ぶ敬老日

富樫 瞭

春の宵馴染み見かける古本屋
母となる娘見上げる 鯛雲
冬薔薇父とナースのブイサイン

川柳

福島地区電友会

斎藤 政夫

出不精がコロナ自粛で役に立ち
出不精でステイホームを乗り切れた

短歌

仙南OB会

大庭美智子

亡夫好きなちあきなおみは難しく
圭子にしたがやはり難しい
明るい色似合うとすすめる店員に

喪中なのよと寂しく断る

バチカンやスペイン広場ベネツィアも
テレビに見るは亡夫との記憶

随想



退職して10年



五ッ橋クラブ 籠林 信雄

私が退職したのは2010年3月31日でした。今年で丸10年の歳月を迎えました。

約40数年間お世話になった電電公社、NTT時代は、宮城、東京、宮城、秋田、東京、秋田、宮城と転勤を繰り返した仕事人生でした。

本社では、総裁室秘書課で役員の秘書、NTT都市開発（株）では、商業施設のビル運営管理と過去に経験したことの無い仕事をすることができました。

いろいろな思い出が蘇ってきますが、退職して考えることは、情報通信の最先端を歩んできた恵まれた環境の中で、退職してもその栄を受けながら生活できる幸せを噛みしめています。

当時、退職を間近に控えた私は、特に趣味

らしい趣味を持っていなかったことから、毎日が日曜日という日々をどう過ごしたら良いか考えていました。

何か目標を持って生活したいと思ったのが10年前でした。

退職前に立ちあげた自分のHP（BLUE SKY IN MIYAGI）の継続、新たに立ち上げたblog（blue sky 531）の日々更新、退職してから加入したでんでん宮城いきいきネットワーク「男の料理教室」、「絵手紙教室」、途中、東北電友会五ッ橋クラブ「社交ダンス」へ加入するなど趣味を増やし、社交ダンスは、民間のダンススクールで個人レッスンとダンスサークルへ加入しその後、大人の休日倶楽部趣味の会、河北TBCカルチャーセンター「オカリナ講座」、民間の「歌謡教室」を受講しました。オカリナは、オカリナ縄文会というサークルへ加入しボランティアによる演奏活動を行い、歌謡教室は、年1回の発表会へ出演し、全国組織のNPO法人ボランティア労力ネットワークへ加入し労力奉仕のボランティア活動をするなどやれる範囲内で積極的に行動をしていました。

現在、男の料理教室は、4年前に胃がんの手術のために退会、五ッ橋クラブの社交ダン

スは、競技会への参加等で退会、その他は、曲がりなりにも継続していました。

考えてみると、パソコンは、いち早く会社で使うことができ、自宅へISDN回線、光回線、フレツツ光を引いてはインターネットを経験し、携帯電話は、PHS、らくらくホン、スマートフォンと新機種が出るたびに更改し懐かしいポケットベルもいち早く導入していました。

HPやblogを何の苦労も無く立ち上げ継続して取り組むことができたのは、情報通信という仕事に携わったこと、現役時代の蓄積が血となり肉となっていたのではと思うと計り知れないものがありました。

これらの基盤を作ることができたのもNTTという大企業の一員であったことによるものと思うと人生ここにありという感じを強く抱いています。

退職してからの10年間、サークルやボランティアの仲間を支えていただきながらの生活でした。

これからの10年、新たな挑戦に向けて取り組み始めました。

今年の4月から我が家の昼ご飯は、一念発起して私が作ることにしました。

今まで何かと用事を作っては出かけていま

したが、午前か午後の予定が多く、昼ご飯を食べてから出かけ、帰ってから食べるというパターンで、全て家内へ頼っていました。

今度は、私が作ることにしましたが、これもでんでん宮城いきいきネットワーク「男の料理教室」に通った実績があったことによるものと思っています。

こちらからも、「日々新たに」という精神で、精一杯人生を謳歌したいと思っています。



電友あさか会

今泉 誠

ボケ老人仕末記

庭の木の葉に日が当って、その光でキラキラと輝いています。この何でもない光景の中にボーツとしています。

今は、気ままに生きていける年になりましたから、わがままな時を過したいと思います。

インターネットもパソコンもやめました。音楽の録音は手動で、葉書は万年筆で書く、アナログ人間です。

週1回、近くのコーヒー店で、スマホに夢中になっている人をチラリと見てウォークマンの音楽を聞き乍ら、ゆっくりと、ひと時を

過します。

毎月1枚、庭に咲いている草花の絵を水彩で描きます。俳句集、詩集から言葉をかさがして添えてやると絵がよろこびます。

毎日の歩みは、これからどんなことに驚き熱中するのでしょうか？

小さな庭に四季折々草花が咲きます。

今朝は水仙が咲きました。うれしい1日となります。



電友あさか会

山田 茂夫

まだ喜寿

昭和37年4月1日、電々公社に入社しました。(日曜日だったので入社式は4月2日)

青春時代はアウトドア派で、野球、スキー、スケート、卓球、テニス、登山など色々なスポーツに手を出し、中でもテニスが好きで熱心に練習もしました。

結婚して子供が生まれると段々とインドア派になって、読書の時間が増えました。

還暦、古希と歳を重ねて喜寿となりましたが、上司、同僚そして仲間にも恵まれて、あつと言う間の楽しい77年間でした。

私の駄句です。

もう喜寿かまだ喜寿なのか道半ば

デジタルの海で溺れている私

字余りも字足らずもあつて喜寿

不器用に生きてお玉じゃくしのみままで喜寿本めくる何と豊かな刻だろう

人生の放課後だけドペンは持つ

飽きもせず読書・川柳・囲碁・将棋

これからも撰生を重ねて、傘寿、米寿、卒寿を目指します。

米寿のお祝いを受けて



千秋クラブ

小坂 公一

元日生まれおもはの私は、旧臘きゅうろう、お祝いを頂き何とも面映おもはゆかった。

88歳まで生きると多くの出会いがあり、多くの別れがあった。新春、回転飾りが反転し金色に煌めく。ふと早世した友のことがオーバールップした。

旧制中学2年の8月2日、予科練を受験。2時頃終わり公園前の坂を下ると町がざわついている。「Mちゃんが海で溺れた！」息をきらし浜へと駆けた。消防団員の背中に両腕

をだらり蒼白のM君。呆然のまま町へ向かった。あの光景は、今も残っている。M君の白い体、回りが全て真っ黄色。月見草は夕方咲く花なのにこの時は午後3時半??

M君は背は低かったが、僅か数cmの差で予科練を受験できなかった。そして、この日から2週間足らずで、日本は敗戦を迎えた。仲良し4人のリーダーだったM君：「なんでこうなるの?」という思いは今も消えない。

米寿のお祝いを受けて



千秋クラブ

榎山 玲子

過去を振り返って見て、太平洋戦争が始まり食べ物、着る物、お金、何もない生活が続きました。人生とは、遠くを振り返ると苦難の人生も過ぎ去れば懐かしいものだと感じられます。

年号も昭和・平成・令和と変わり、この年齢まで生きて来られるとは、思っても居ませんでした。退職して早や42年、只々月日の速さを感じます。残念ながら先輩、友達、昔を語る人も少なくなり寂しい限りです。

人生は過去の蓄積の上に成り立っています。

これから生きて行く上で、人様のお世話になりながら頑張る行く積りです。電友会の御発展お祈り申し上げます。最後に、お祝いを頂きまして心から本当に感謝申し上げます。有難う御座いました。

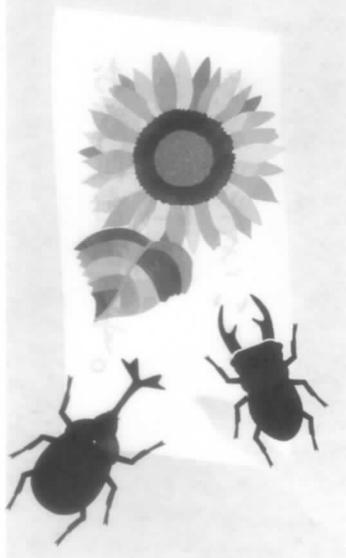
◆会友コーナーへの投稿について

- ◎他紙等への二重投稿はご遠慮願います。
- ◎随想コーナーへの投稿については誌面の都合上、左記内容にご協力をお願いいたします。
- 掲載・・・年1回

ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。

- 字数・・・1200字以内厳守
- 紙面の都合上、調整させていただく場合もありますのでご了承願います。

○次回締切り・・・令和2年10月20日厳守



会友コーナー作品募集

会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

- 短歌・俳句・川柳など
 - 随想・旅行の思い出など
- 〈お一人3首(句)以内〉 〈1,200字以内/年1回掲載※〉

※ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。

【お問合せ・連絡先】

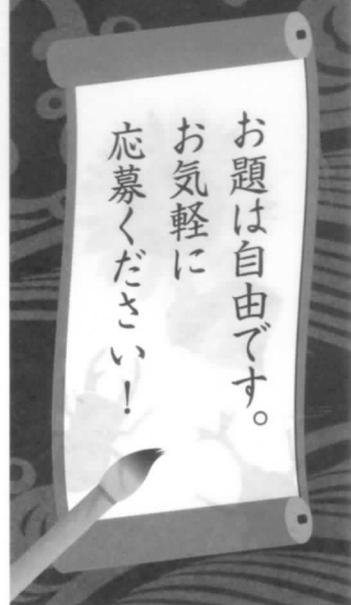
電友会東北地方本部

▶ 電話(022)212-1443 ▶ FAX(022)212-1444

▶ E-mail : keyaki@cocoa.ocn.ne.jp

でんでんみちのく

川柳コーナー



仙南OB会

大庭美智子

身の丈で生活してもまだ足りぬ
 新予算年金値上げは盛られしや
 退職や娘のデザインでテレカする
 (テレカを作りお世話になった方々へ
 配りました)

青森地区電友会

秋田 稔

迂回路のあたりで消えた青い鳥
 報われた汗は一人でふきなます
 幸せになって皆の荷を担ぐ

館山 生木

寅さんが時空を超えて愛紡ぐ
 イクジイは助言を控えほめちぎる
 口撃をオフロードパス攻めかわす

千秋クラブ

柏谷 武

コロナ禍に磯ならいと一人竿
 電池まで注意書き読む慎重派
 訪問に親しき仲にもアポをとる

高橋 幸雄

雪が無く冬の祭は知恵しほり
 足もつれ孫の手を借る散歩道
 三密を避けて山菜採りの日々

福島地区電友会

高橋 敬一

寒風もここが我慢と花パンジー
 ケンちゃんの逝くを見送る桜花
 コロナ渦外出自粛で身は太り

五ッ橋クラブ

一 風

通販の本日限り未だ続き
 いつやるの半年待ってる万歩計
 汗をかくビールの美味さにジム通い

山ボーイ

サンミツと横目でにらむ縄のれん
 手洗いでアカギレできたコロナ禍な
 自粛してシユクの字かけぬ恥かいた

◎投稿は紙面の都合上、一人3句までとさせていただきます。
 多数投稿されている場合は
 勝手ながら編集担当で選定いたします。

NTT東日本から退職者の皆さまへ

■長寿お祝いについて（勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本社長からのメッセージを添えた「カタログギフト電報」と花を贈呈させていただきます。

長寿の種類	贈呈品
喜寿（77歳）	カタログギフト電報+花 （1万円相当）（5千円）
米寿（88歳）	
白寿（99歳）	

（注：年齢は満年齢でNTT東日本が把握し贈呈しております）

■弔慰金の取扱いについて（勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本から以下のとおり香典をお贈りしています。

本人・・・30,000円

配偶者・・・10,000円

※贈呈期限については、長寿お祝いは該当年齢の誕生日から
弔慰金は死亡の事実が発生した日から、それぞれ2年以内と
なります

長寿のお祝いおよび弔慰金に関するお問合せは
NTT東日本-東北 総務部 社員サービス担当へご連絡ください
TEL：022-281-8716
Mail：obfuhou@east.ntt.co.jp

◎表紙写真の紹介

シリーズ 活き活きと

仲間と集う 明日も共に

前回までの表紙絵のテーマ「よみがえるあのころ」は各県一巡したので、今回から「活き活きと」と題し、様々な活動を楽しむ会員の姿に焦点を当てていくシリーズとします。

今回は、その第一弾として青森の会員の活動を表紙にしました。囲碁フェスティバルでの若い方との対局、ゴルフやグラウンドゴルフを楽しむ姿、市中でのウォーキングも楽しそうです。また、津軽半島の上のほうは、会員力作の手あみの手芸作品です。様々な分野で大勢の会員が活き活きと人生を楽しんでいます。表紙の上と下に織り込んだねぶた絵にも気づいてもらえたでしょうか。さて今回は山形です。仲間や地域とふれあいグイキキッと楽しむ姿を紹介していければと思います。

(写真提供/電友会青森支部)

●●●編集後記●●●

兔に角この半年、コロナ、コロナでどうにもなりませんでした。

街の人は少なく、スーパーの陳列棚も品薄状態が続く、9年まえの東日本大震災災程で

はないにしても異常な状態が続きました。

電友会の会議や行事も書面化・中止が相次ぎ、寂しい思いをされた方も多くいらっしゃるのではないかと思います。投稿記事を拝見してもそういう状況を伝えるものが多く、この先どうなっていくのか不安がよぎります。そんな中で、記事を送っていただいた皆様、本当にありがとうございます。

また、事務局で原稿の校正を行う際、明らかな誤字等の修正は別として、投稿者のお気持が伝わるよう、出来るだけ原文のままとしています。久し振りの投稿で戸惑いながら書いた方もいらっしゃると思います。

どうか夫々の方の「個性」として読んでいただければ幸いです。

さて、当事務局も諸行事の中止等で少しは暇になるかと思つたのですが、そうはいかず中止や変更等に伴う連絡、手続きでむしろ煩瑣となり、慌ただしい日々を送っています。

6月下旬からは国の規制も徐々に緩和され経済活動も再開されつつあり、これに伴い各地区でのサークル等の活動も復活しているところもあるようです。それにしても全く元のようには戻らず、マスク着用や手洗い励行、3密回避等の「新しい生活様式」の順守が強く求められる時代に移行しました。ちよつと

息苦しい世の中ですが、百戦錬磨の我々高齢者集団としては、コロナに負けず、明るく、しっかりとたかたかで愉快な暮らしを楽しんでいきたいと思ひます。そんな気持ちを駄作で一句。

「マスク無し 咳無し熱無し 仕事山

金もなければ死にたくもなし」(ゴムサイ) いずれにしても会員の皆様には感染予防に万全を期し、健康な毎日を送っていただきませう祈っております。

◆87号の巻頭言は、新任のNTT東日本青森支店長越智徹二様にお願ひしました。心より感謝申し上げます。

◆次号(88号)会報について

・発行時期 令和3年1月1日

・原稿締切 令和2年10月20日(期日厳守)

◆次号(88号)の巻頭言は、NTT東日本山形支店様、電友会山形支部にご協力をお願い致します。

(S・T)

東北電友会会報 第87号

令和2年8月1日発行

電友会東北地方本部

〒984 8519 仙台市若林区五橋3-2-1

NTT五橋ビル内

電話 022-212-1144

FAX 022-212-1144

印刷 株式会社 仙台紙工印刷